

# 藤枝市教育委員会

## 平成25年5月定例会会議録（要約）

- 開催日 平成25年5月23日
- 場所 藤枝市役所西館5階 第4委員会室
- 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 出席委員  
委員長 深津寧子 委員長職務代理者 山根紗智子  
委員 下田實男 委員 松浦正秋  
教育長 山本満博
- 欠席委員
- 出席した事務局職員  
教育部長 塚本定生 教育政策課長 山崎仁志  
教育推進室長 栗山淳子 学校教育課長 櫻井昭裕  
主席指導主事 梶川佐知子 学校給食課長 山下貢  
生涯学習課長 三好正彦 図書課長 成岡均  
文化財課長 山村章 街道文化課長 桜井優  
総務係長 横山茂幸 書記・主任主査 岸本倫子

# 教育委員会 平成25年5月定例会

日時 平成25年5月23日午前9時00分  
場所 市役所西館5階第4委員会室

1. 開 会 午前9時00分

2. 会議録署名委員氏名 下田實男委員、松浦正秋委員

3. 日程第1

- ・第2号議案 藤枝市指定史跡「岡部宿本陣址」の一部現状変更の文化財保護審議会への諮問について
- ・第3号議案 藤枝市郷土博物館協議会委員の委嘱について
- ・第4号議案 藤枝市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について
- ・第5号議案 藤枝市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
- ・第6号議案 藤枝市公民館運営審議会委員の委嘱について

4. 日程第2 諸般の報告

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>1. 高洲小学校第2児童クラブ建築工事の概要について</li> <li>1. 平成25年度小中連携ドリームプラン事業について</li><li>1. 藤枝市教育振興行動計画策定について</li> <li>1. 「ふじえだ教師塾」入塾状況について</li><li>1. 学校経営委員会への研究委託について</li><li>1. 藤枝市内児童生徒数について</li> <li>1. 学校給食での“宮古紫いもパン”の提供について</li> <li>1. 平成25年度わくわく科学教室&amp;番外編「夏休み自由研究お助け隊」の実施について</li> <li>1. 岡部図書館の状況について</li></ul>
-----	--

5. 閉 会 午前9時30分

# 教育委員会 平成25年5月定例会会議録

## 日程第1

委員長	第2号議案「藤枝市指定史跡「岡部宿本陣址」の一部現状変更の文化財保護審議会への諮問について」を議題とする。
事務局	【第2号議案 藤枝市指定史跡「岡部宿本陣址」の一部現状変更の文化財保護審議会への諮問について 説明】 「岡部宿本陣址」の岡部宿内野本陣史跡整備事業に伴う工事実施にあたり、事業者である藤枝市長より5月10日付けで現状変更申請が提出されたもので、この内容について文化財保護審議会へ諮問したく提案する
委員	<質疑・討論なし>  本案は原案のとおり可決
委員長	次に第3号議案「藤枝市郷土博物館協議会委員の委嘱について」から第6号議案「藤枝市公民館運営審議会委員の委嘱について」はすべて委員の委嘱についてであるため、一括議題とする。
事務局	【第3号議案 藤枝市郷土博物館協議会委員の委嘱について 説明】
事務局	【第4号議案 藤枝市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について 説明】
事務局	【第5号議案 藤枝市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 説明】
事務局	【第6号議案 藤枝市公民館運営審議会委員の委嘱について 説明】
委員	<質疑・討論なし>  本案は原案のとおり可決

## 日程第2 諸般の報告

事務局	1. 高洲小学校第2児童クラブ建築工事の概要について 3年生の希望児童受入のため
事務局	1. 平成25年度小中連携ドリームプラン事業について 9年間というスパンの中で地域の特色ある教育活動を進め、子供達の生きる力の原動力となる夢や希望につなげる事業  1. 藤枝市教育振興行動計画策定について 平成25年9月策定予定

事務局

1. 「ふじえだ教師塾」入塾状況について  
当初目標60名を大きく上回る97名が入塾
1. 学校経営委員会への研究委託について  
今年度は地域の実情にあった防災教育と食物アレルギーへの対応等
1. 藤枝市内児童生徒数について  
国の基準日平成25年5月1日調による

事務局

1. 学校給食での“宮古紫いもパン”の提供について  
今後、学期に1度程度続けていく予定

事務局

1. 平成25年度わくわく科学教室&番外編「夏休み自由研究お助け隊」の実施について

事務局

1. 岡部図書館の状況について

委員

小中連携ドリームプラン事業について。全体的に見て非常に夢のあるとても素晴らしい計画と思うが、その中でいくつか質問する。

- 1 藤枝中学校区の小中合同の授業交流とは、どのような形で行うのか。
- 2 西益津中学校区の家庭学習の習慣化について、家庭学習の手引きとは具体的にどのようなものか。
- 3 葉梨中学校区の百人一首で伝統的な言語文化に関心や理解を深めるところについて、葉梨小の運動場で4ツ切の画用紙や段ボールに書いたものを先生が読んで子供達全員で拾うというカルタ会がずっと以前から行われていたように思うが、これとの関わりがあるのか、またはそれは関係ないか。
- 4 高洲中学校区のドリーム講演会について、各中学校区で色々な講演会等を計画した場合、予算は教育委員会ですべて支出するのか、ある程度の基準を設けているのか。

事務局

- 1 藤枝中学校区の小中合同の授業研究及び研修会の実施について、昨年の取り組み状況は、小中学校それぞれの授業研修をお互いに乗り入れながら実施するという形で行った。
- 2 西益津中学校の家庭学習の手引きについては、小学校、中学校の家庭学習のありかた、あるいは子供達がどんなふうに家庭学習をすればいいかを具体的に話し合いながら、子供がそれをみてこんなふうな学習に取り組めばいいんだといった所がわかるようなパンフレットの作成である。
- 3 まず葉梨小学校で始めた百人一首を葉梨中学校が受け継いで、西北小学校の子も含めて9年間で継続していきたいというもの。
- 4 今年から各校区2校ずつ、それぞれ30万円の予算で実施する。

事務局

藤枝中学校区では小中の教員による授業交流という形で、交流・乗り入れが可能な教科を今後選択しながら、実際の活動に入っていく。

委員	<p>教員の研修交流というのはどこの地域もやっているが、合同授業交流という事になると、たとえば6年生と中学校1年生が算数・数学を通してとか国語教育を通してとかということか。前には水泳についてやったというのを聞いた事があるが。</p>
教育長	<p>私が藤枝小学校に勤務していた時に、小中合同の授業交流をやっていた。藤中と藤小と稲葉小と藤枝中央小の4校が交代で1年ずつ、午後から全職員が入って、その学校のどこの授業でも良いから授業参観をして、そしてその後事後研を行った。生徒指導とか研修とか、教師が色々にグループごとに分かれて話し合いをした。</p>
委員	<p>小学校へ入学した子供のいろいろな個人に対する情報というものが、小学校生活6年間を経て中学校へ行った時に割合伝わっていないといったケースがあった。そういう意味で合同のドリームプランが大事。小学校の個人情報をしっかり中学の先生に伝えるという事は、保護者の願いである。</p> <p>講演会の件は、小学校1年生と中学校3年生ではだいぶいろいろな事で差があると思うが、教師が交流して小学校1年生の事も理解し中学校3年生の事も理解し、対処していくというのが良い。子供達の成長の過程の事も十分考慮して行って行っていただきたい。</p>
委員	<p>西益津の家庭学習の手引きの事だが、昔はあたりまえに親が教えていたような事だと思う。手引きを親ターゲットなのか子供目線で作るのかという事を教えてほしい。また、こういうものは全市的に広げるべきでは。今の親は学ぶことは学校にまかせてしまうという風潮を感じる。学校と家庭の役割分担をしておく必要がある。先程全体のドリームプランで他の委員が言ったように9年間の一貫というのはいいが、やはり15歳と7歳ではかなり違う。それをどうしていくかという所と、各校区のいろんな取り組み、施策が全市内的な情報交流になっているかどうかを聞きたい。</p>
事務局	<p>家庭学習の手引きが親向けなのか子供向けなのかという所は、今、資料を持っていないが、内容的には多分子子供向けに作る。それがたとえば小学校であれば子供と親と一緒に見ながら家庭学習について考える機会になるという事。全市的に取り組む必要があるだろうという意見についても今後考えていく。</p> <p>ドリームプランの各10校区の内容については、常に教育推進室が全教職員に向けて情報発信している。</p> <p>また、今日お示ししたこうした計画は校長会、教頭会を通して発信しながら、それぞれの校区で行われている取り組みの良さというものは共有をしていきたいと考えている。</p> <p>市としても全教職員も含めて発信するドリームプラン事業の内容をより充実させるためにどうしたらいいか、現在の藤枝市の子供達の健やかな成長のため、どんな事業が今後必要かというきっかけになるような、発信をしていく。</p>
委員	<p>今の関連で、1年たってどんな成果があったかいうところが一番大事。</p>

- 委員 いろいろな所で市長が特別支援学級を藤枝市全体に配置をしたいということを話している。実際のところ特別支援学級についてどういう状況か。
- 事務局 今年は葉梨小学校に「知的」と「情緒」、それから高洲小学校に「知的」「情緒」を計5学級設置した。職員の配置については、特別支援のベテランで中心になっている者を一人ずつ他校から連れてきて、さらに経験のある者もしくは新しい者が勉強しながらやるという、形でスタートさせた。また、何年間か見たスパンの中でその学校に特別支援学級の子供達がある程度の人数いるということが必要。  
更にあまりにも特別支援学級が1校に多い場合、ある程度分散できるかなど、いろんな要素をふまえながら少しずつ可能な限り対応はかっている。
- 委員 肢体不自由児の学級が、高洲南小学校にある。一つの市にこれだけの子供達がいる所で、ここだけでいいのか。県立の特別支援学校が藤枝市内にはあるのでそちらとも連携をとっていけるという考えなのか。
- 事務局 葉梨西北小学校について最近までであったが、そこは今該当者がいなくて休級になっている。該当者があった時にその都度検討している。
- 委員 学校給食で宮古島との友好関係というのは知らなかった。以前から藤枝市は色々な所と、松任市や福岡市とスポーツを通して交流があるが、宮古島とは最近の友好都市関係なのか。
- 事務局 平成23年度に提携した。そもそもは藤枝市内の西光エンジニアリングという機械メーカーが宮古島の特産のもずくについて、生の形で沖縄から全国に出荷できるよう、器械を開発したのが縁である。
- 委員 友好都市との関わりの中で食べ物とか文化などの交流が小中学生にもできればいい。
- 事務局 学校給食では月1回くらい、各県外の郷土料理を取り入れている。いろんな日本の郷土料理を子供達に知ってほしいと考えている。
- 委員長 以上で本日の全日程を終了しましたので5月定例会を閉会します。

閉会 午前10時10分